

次世代のドリル学習に取り組んでいる玉野市玉中学校の生徒 に同市出身の作家高嶋哲夫さんから支援のメッセージ

岡山大学 教育学部
准教授 寺澤孝文

昨年の6月より、玉野市立玉中学校において、マイクロステップ技術という、学習効果測定技術を導入した、次世代のドリル学習支援を教育学部の寺澤研究室が実施してきました。その中で、生徒の学習の励みになるよう、研究者やその中学校出身の岡大生をはじめ、様々な方から支援のメッセージを寄せていただき、それをドリル帳の表紙に印刷し配布してきました。

このたび、映画「ミッドナイトイーグル」の原作者で著名な高嶋哲夫先生にその支援のメッセージをお寄せいただき、それを各生徒に印刷し、配布することになりましたので、次のページ以降にご紹介させていただきます。実際に配布する期日と内容については、まだ確定しておりませんが、ドリル学習の進捗をみて、そのメッセージを配布する予定です。

今後、このような様々な方に支援のメッセージをお寄せいただき、それを大学が主体となり、ドリル学習支援と一緒に、子どもとその家庭へ直接と届けるサービスをさらに進めようと考えております。

なお、この学習支援は、マイクロステップ計測技術という新たな学習効果測定技術を学校における日々の学習に導入したものです。従来のテストと根本的に異なるのは、テストだけでなく膨大な学習イベントなどを詳細にスケジューリングし、それに従い学習とテストを実施し、一人ひとりの子どもの何十万にもおよぶ全ての反応データを収集し分析し、個別にフィードバックできるようにした点です。テストと学習を融合させて測定精度を高めている点が特徴といえます。それにより、従来とは比較にならない精度で子どもの日々の学習の積み重ねの効果を個別に描き出せるようになりました。玉中学校の今回の支援は、全校規模で継続的に支援を実施するための試験的プロジェクトになりますが、予想通りの成果が得られてきています。

なお、昨年夏には、マイクロステップ技術を導入した、任天堂 DS 用英単語学習ソフト（「THE マイクロステップ技術で覚える英単語」 D3 パブリッシャー）も発売され、それに際しましては、いくつかの新聞やテレビでお取り上げいただきました。あわせてお礼申し上げます。

現在、玉中学校区の外、岡山市内の小学校、京都府の中学校で、ドリル学習支援を計画しておりますが、そこにも今回と同様のメッセージを掲載していく予定です。学校に関する情報をはじめ、地域独自の情報の他、全国的に通用する情報を盛り込んで、単なるドリル学習教材としてではなく、大学が主体となって学術的な情報を配信していくサービスを構築していこうと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

やる気向上プロジェクト玉学！

漢字のよみ学習帳

番号：○○○○○○○ 氏名：○○○○○ (生徒の名前)

これは、第○サイクルの ○日目の学習です

まず今日の学習帳の番号を確認してください

(言葉の読みに対する自分の実力の評価基準)

- 全然だめ (もっともっと勉強をしないといけない) と思ったら ---- 0番の にチェック
だめ (もっと勉強をしないといけない) と思ったら ----- 1番の にチェック
もう少し (もうちょっと勉強しないといけない) と思ったら ----- 2番の にチェック
よい (完璧でもう勉強しなくても大丈夫) と思ったら ----- 3番の にチェック

<支援者からのメッセージ No.○>

★特別版★ 玉野市出身の作家 高嶋哲夫先生より

◆データセンター (寺澤) より◆

今日のメッセージは、スペシャル (特別) 版です。奮発してカラー印刷です！

この冬、「**ミッドナイトイーグル**」という映画を見に行った人はいないでしょうか？ “日本滅亡
まであと **48** 時間” というキャッチコピーをはじめ、テレビや雑誌などで全国的にかなり話題にな
った映画です。その映画の原作者である高嶋哲夫先生が、皆さんと同じ玉野市のご出身だといふこ
とは知っていましたか？

以前、ここで岡山大学の大学祭のことを紹介したことがありました。その大学祭のアカデミック
企画として、映画の**ミッドナイトイーグル**が公開された当日に、原作者の高嶋哲夫先生に岡山大学
にお越しいただき、ご講演を賜りました。私も会場のホールで、高嶋先生のお話を直接お聴きし
ながら、いろんなところであいつちをうっていました。そしてご講演が終わったところで、玉中の
皆さんに何かメッセージを寄せていただけないかと思い、色紙を出して、メッセージつきのサイン
を頂戴しました。そのとおきのサインをコピーしたものをこの表紙の裏側に印刷しておきま
す。高嶋先生はたくさんの小説をお書きになっており、今年に入ってから、新聞にもよく取り
上げられています。先生は原子力に関係する優秀な科学者だったんですが、今は日本を代表する
作家になられています。どんな経緯でそうなったのか興味深いところですね。

高嶋先生は、中学生のころ、作家になるなんて思っても見なかったのではないのでしょうか。皆さん
も、将来どんなところで自分の進路が変わってしまうかわかりません。というわけで、皆さん
が今やっている漢字の勉強も、将来どこで意味がでてくるかわかりませんから、頑張っておきま
しょう。ちなみに、私は漢字の勉強をあまりしていなかったの、大学の講義では、かなり恥ずかし
い思いをしています。後悔先に立たずです！

高嶋哲夫先生より、さらに、みなさんへ先生のご著書を推薦していただきました。映画化に向け
て努力されているそうです。応援したいですね。

(高嶋先生より：2007年2月18日)

『**ダーティー・ユウ**』(光文社文庫)は、「いじめ」についての本で、中学生にも十分に読めます。

新潟大学付属中学の二年生が一年かけて討論し、文化祭で劇を演じてくれました。

僕自身も、子供たちに読んでほしいものです。

映画化に向けて頑張っていますが、いろいろ難しいです。

★★このドリル教材の作成は、岡山大学の経費によってまかなわれています。★★

玉中のみなさん

玉字がくまて

下まら

海らと

かえる

馬嶋哲夫



2007.11.23